

「緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット Ver.1.0」について

気象庁では、緊急地震速報を国民の皆さまに理解し、有効に利活用して頂くため、官公庁、学校、事業所等で実施される防災訓練のなかで緊急地震速報受信時の対応行動訓練を実施して頂けるよう、訓練用キットを作成しました。

全国各地での訓練が可能となるよう、8つの地域の地震を想定した映像を作成し、気象庁ホームページに掲載しております。訓練に際し、随時ダウンロードしてご利用下さい。

(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/usage/index.html>)

1. 映像の概要

本キットは、緊急地震速報受信時（テレビで確認する場合を想定）の対応行動から地震による揺れが収まった後の避難行動開始までの訓練を支援するため、映像と音声により一連の流れを表したものです。

映像の流れは以下の表の通りです。

	放送内容
①	訓練概要説明（アナウンス）
②	訓練開始報（アナウンス）
③	緊急地震速報放送（アラーム＋アナウンス）
④	地震発生（効果音）
⑤	避難行動開始案内（アナウンス）
⑥	訓練終了報（アナウンス）

2. 想定した地震

訓練用キットは、全国の機関で活用できるように、以下の8つの地域における地震を想定し作成しました。

震央地名	マグニチュード	緊急地震速報が発表される地域
十勝沖	M8.0	北海道、東北
宮城県沖	M7.4	東北、関東、北陸
新潟県上中越沖	M6.8	北陸、東北、関東、甲信
静岡県西部	M8.0	東海、甲信、関東、伊豆諸島、北陸 近畿、東北、中国、四国
和歌山県南方沖	M8.0	近畿、東海、四国、中国、伊豆諸島 北陸、甲信、九州、関東
日向灘	M7.5	四国、九州、中国、近畿、東海
奄美大島近海	M8.0	九州、沖縄
与那国島近海	M7.8	八重山、宮古島

3. 活用例

訓練用キットを活用した訓練事例（小学校等での訓練を想定）を以下のとおり示します。地震による揺れが発生する2分前に訓練用キットを再生し、訓練を開始して下さい。

なお、訓練用キットの活用方法は、気象庁が作成した「緊急地震速報利活用の手引き（施設管理者用）Ver 1.0」にも記載してありますので、気象庁ホームページをご参照下さい。

訓練用キットを用いた訓練例（小学校等）

実時間例	経過時間	放送内容	訓練行動例
13:58		①訓練概要説明	
	0:01:35	②訓練開始報	
	0:01:50	③緊急地震速報	適切な対応行動を取る (机の下に潜る etc.)
14:00	0:02:00	④地震による揺れ発生	対応行動を継続
	0:02:25	⑤避難行動開始案内	避難行動を開始 (校庭に避難する etc.)
14:01 頃	0:02:40	⑥訓練終了報	(避難行動等を継続 etc.)

地震による揺れが発生する時間から逆算（2分）し、訓練用キットを開始する時間を決定

本件問い合わせ先：総務部企画課
地震火山部管理課

03-3212-8341（2248）
03-3212-8341（4509）